



**ほろじょう
厄よけ・五穀豊穰を祈る**

陀々堂の鬼はしり

国の重要無形民俗文化財である念仏寺(大津町)の「陀々堂の鬼はしり」が、1月14日に行われました。

午後9時、読経の声やほら貝・大太鼓の音が響く中、父鬼・母鬼・子鬼の3人の鬼たちが登場しました。

そして火手(カッテ)役が行事の安全を祈って空中で水の字にたいまつを振る「火伏(ひぶせ)の行」を行ってから、3人の鬼たちが重さ60キログラムもあるたいまつをかざして堂内を巡り、訪れた参拝者は今年の幸せを祈りました。

また、夜の鬼はしりを前に、当日午後には、たいまつを点灯しない「昼の鬼はしり」と、地区の小中学生がひとまわり小さな面をかぶって登場する「子供鬼はしり」も行われ、見物客を楽しませました。

山頂を目指して

雪中金剛登山

第31回雪中金剛登山が1月19日に行われ、215人の子供たちが参加し、山頂を目指しました。残念ながら雪は尾根付近に少し残ってる程度でしたが、数日前からの冷え込みで登山道には高さ7cmを超える大きな霜柱があちこちあって、子供たちは驚きの歓声を上げていました。

昼食場所のキャンプサイトでは、五條市スカウト育成協議会により温かい豚汁が振る舞われました。



五條小学校チームが優秀賞

「いかのおすしー人前」ダンスコンテスト

「子どもを犯罪の被害者にも加害者にもさせない」対策を推進中の奈良県警察が、1月19日に開催した「いかのおすしー人前」ダンスコンテストで、五條小学校チーム「ラブリースマイル」が優秀賞を受賞しました。

「いかのおすしー人前」とは、「行かない・乗らない・大声で叫ぶ・すぐに逃げる・知らせる・一人で遊ばない、出かける前にどこで、だれと遊ぶかを伝える」の児童連れ去りを防止する言葉の頭文字をとったキーワードで、それをもとに作られた曲に、児童たちが教師と一緒に振り付けを考え、今回のコンテストで県内の小学校など16チームが披露しました。



五條小学校チーム「ラブリースマイル」のみなさん

宝くじの助成を受け体育備品を購入しました

賀名生体育館

財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により、賀名生体育館(西吉野町和田)に卓球台やバレーボール等の用具を購入しました。

同センターは宝くじの普及広報費として受け入れる受託事業収入を財源として、コミュニティ活動に助成を行い健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報事業を行っています。

